

平成 21 年度第 1 回 横浜市建築物環境配慮評価認証委員会 会議録	
日時	平成 21 年 6 月 10 日 (水) 午前 9 時 40 分から午前 11 時 40 分まで
開催場所	関内駅前第一ビル 202 特別会議室
出席者	委員 岩村 和夫 会長 伊香賀 俊治 副会長 吉崎 真司 委員
	説明者 (計画概要の説明) 株式会社東畑建築事務所 大成建設株式会社一級建築士事務所
	事務局 若月 まちづくり調整局 建築審査部長 小池 まちづくり調整局 建築審査部 建築環境課長 肥田 まちづくり調整局 建築審査部 建築環境課 建築環境係長 まちづくり調整局 建築審査部 建築環境課 堀越、西野、佐藤
欠席者	委員 岩田 利枝 委員 園田 真理子 委員
開催形態	非公開
議題	1 (仮称)みなとみらい 21 中央地区 42 街区 について 2 みなとみらいセンタービル について
決定事項	S ランクにて認証
議事 (概略)	<p>CASBEE の評価全般について</p> <p>【Q3-2 まちなみ・景観への配慮、Q3-3.1 地域性への配慮、快適性の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CASBEE では、敷地の与条件 (地区計画やまちづくり協議等で決められていること) に従った内容については、積極的な取り組みとして評価することはできない。 <p>【Q3-1 生物環境の保全と創出】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都心部の緑地というと、広々とした開放的な緑地のイメージがあるが、CASBEE で言う「生物環境の保全と創出」は、単に緑の量を確保するだけではなく、中高木の立体的な配置やある程度の緑の濃さの確保など、生物の生息環境に配慮した計画とする必要がある。 <p>【LR3-1 大気汚染防止】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域冷暖房を導入している地区では、空調や給湯に全く燃焼機器を全く使用しないということであれば、敷地からは大気汚染物質を発生しないということ、レベル 5 と評価することができる。 <p>評価された主な環境配慮項目</p> <p>1 (仮称)みなとみらい 21 中央地区 42 街区</p> <ul style="list-style-type: none"> ・敷地内に中高木や緑地をバランス良く植栽、生物環境に配慮した計画 ・工事中の仮囲いを利用して緑を育成し、低層部の緑を用いた屋上の修景に使用 ・LED 照明等によるライトアップを計画し、夜間の景観にも配慮している。 ・横浜美術館に近接するという立地に配慮し、公開空地に多数のパブリックアートを配置している。 <p>2 みなとみらいセンタービル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オフィスフロアの共用部にエコボイド (吹抜け) を設置し、3 種類のミラーを用いて建物内に自然光を取り入れるシステム (T-Soleil) を導入し、自然エネルギーの利用と照明電力の削減に取り組んでいる。 ・敷地内から出土した錨を敷地内に配置し、現在の近代的な街並み以前の姿を紹介する案内板など、造船所の歴史を継承する取り組みを行う。
資料	1 建築物環境配慮評価認証計画書 2 設計趣旨及び建築計画概要

本会議録は、平成 21 年 7 月 10 日各委員に確認を得、確定しました。